

公表

事業所における自己評価総括表 <児童発達支援>

○事業所名	岐南さくら発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 17日 ～ 2025年 2月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 1月 17日 ～ 2025年 2月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどもにわかりやすい構造化された環境。	・常に衛生環境を点検し、環境整備に努めている。 ・視覚できる環境を整えている。	・定期的な施設点検で安全に利用できる環境を整える。 ・適切な視覚的環境を整える。
2	・こどものことを十分に理解して、こどもと保護者のニーズに合わせた丁寧な支援。	・アセスメントやモニタリングでは、相談支援専門員からの情報を下に児童発達支援管理責任者が作成した個別支援計画を職員間で共有している。 ・送迎時やサインに来所された折に、お子様の様子を聞いたり伝えたりしている。	・個別支援会議を充実させ、こどもの課題を職員間で共有する。
3	・こどもと保護者の満足度。	・常に保護者目線に立ち、こどもの心に寄り添った支援を心がけている。	・こどもと保護者のニーズに合わせた支援プログラムが提供できるように、一人ひとりの支援目標に合わせた活動を提供する。 ・研修を通して指導員の資質向上に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・SNSやHPを活用した連絡体制の強化と構築。	・HPを充実させ、今後、SNSを利用した連絡体制を整える。 ・IT環境について専門員から学ぶ機会を設ける。	・IT環境の見直しをして整備する。
2	・保育所や子ども園などの地域のこどもとの交流。	・関係機関と連携を図る。	・同法人の圓行事にさんかさせてもらう機会を設けたり、園庭で遊ばせてもらったりする機会を持つ。
3	・非常災害の発生に備えた定期的な訓練や保護者同士の交流の機会など定期的に実施しているが、周知されていないこと。	・毎月の非常災害時の訓練は実施しているが、保護者に周知できていないことがわかった。また、ペアレントトレーニングやなつまつりや新年会などの行事も計画的に開催していたが、全保護者に認知されていないこともわかった。配布書類など見やすいようにし、連絡ノートにも記入する。	・保護者への案内や連絡が周知できるように、配布物だけでなくHPなども活用できるように整備する。